

KEEP FOREST

森を育て、家をつくる。

「木」をルーツにした会社だからこそ、
日本全国に8箇所、広さ2,021ha*を超える、
「ナイスの森」を保全・育成しています。

木は、地球温暖化の原因のひとつである二酸化炭素を吸収し、建物となって炭素を固定化します。

つまり、木造住宅をつくるということは“都市に森をつくる”ということ。

ナイスは「木材流通」がルーツである企業として、社有林「ナイスの森」の保全・育成を通じて、

地球温暖化防止へ貢献していきたいと考えます。



全国のナイスの森
はこちら



環境への取り組み
はこちら

*東京ドーム(建築面積)430個分に相当

国産材にこだわる。

子どもと地球の未来のためにできること。

「日本の木」でつくる家にこだわり、

CO₂削減に貢献します。

それは森や水源を守り、災害を減らすことにもつながります。

脱炭素社会に向けて、2050年カーボンニュートラルの実現に貢献し、

建築物の木造化・木質化の推進や合法伐採木材等の利用推進により、SDGs達成へ努力しています。

ナイスグループは

- 農林水産省と「国産材の利用拡大に関する建築物木材利用促進協定」を締結。
- 京都市他4者と「建築物等における北山杉の利用促進協定」を締結。
- 宮崎県と「宮崎県産材の利用促進に関する連携協定」を締結。



NICE

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

ナイスグループは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています



JAPAN WOOD DESIGN
AWARD
ウッドデザイン賞
8年連続受賞



MADE IN JAPAN